

岩手県中学校体育連盟バレーボール専門部 競技上の確認事項・申し合わせ事項

令和4年2月22日(火)

〔公財〕日本中学校体育連盟バレーボール競技部(令和3年12月27日) 通達

「ベンチ内持ち込み物」の取り扱いについて

- (1) 試合進行にかかわりが無い物を露出することを禁ずる。
 - ・ダルマやマスコット人形、寄せ書きや応援グッズ等。
- (2) 作戦に関する物は、以下の基準に当てはまる物は持込使用を許可する。
 - ・監督・コーチ・マネージャーのみが常時携帯でき、速やかに危険回避できること。
 - ・素材が安全な物(紙・プラスチック)。
 - ・大きさは使用時の最大がA3版以内であること。
(A4のファイルを使用する場合、広げるとA3になるため。)
- (3) 応急処置(救急バック)物品・熱中症対策(水分やタオル等)物品の持ち込みは許可する。
団扇については開催要項に「給水のためのタイムアウト」を採用している場合のみ許可する。
※団扇の扱いは「熱中症対策としての団扇使用」の取り扱いについてに準ずる。
- (4) 電子機器(スマホ・タブレット・PC・無線端末)等の使用は禁ずる。

令和3年度 第2回専門部会(令和3年10月29日) 確認

- (1) リベロの不法な交代は、JVAの取り扱いに準じる。
(リベロの不法な交代が発覚した時点で、遅延制裁や反則の対象となる。)
ただし、リベロとの交代については、サイドライン上でいったん立ち止まってから交代すること。
- (2) 各セットの開始時にコート内で円陣を組む場合、そのタイミングはスターティングラインアップの確認前後どちらでも構わない。ただし、人数は最大でも登録されたリベロ(1人~2人)を加えた8人までとし、速やかに行い、スターティングラインアップの確認や試合開始の準備をすること。なお、リベロの交代は上記(1)に則し、正しく行うこと。

※令和3年度県新人大会から適用

令和2年度 (公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部(令和2年6月17日) 通達

- (1) 開催要項に「給水のためのタイムアウト」を採用している場合において、熱中症対策として「団扇使用」を認めることとする。
 - ① 使用は、セット間・タイムアウト・給水タイムアウトのみとする。
 - ② 使用場所はウォームアップエリアやベンチ周辺とする。
 - ③ 団扇の数には制限はないが、チームスタッフ及びリザーブ選手が保持することなく、ベンチもしくはウォームアップエリアで保管すること。
 - ④ 団扇の大きさには規定を設けませんが、極端に大きなものは使用しない。
 - ⑤ 団扇にチームのロゴ等が記載されていても構わないが、装飾としての使用は認めない。

令和元年度 東北大会(令和元年8月7日) 確認

- (1) 試合開始前のあいさつについて
○試合開始前に両チームが整列し、主審の吹笛であいさつ・握手をする。この時の主審の吹笛はあいさつの合図であるため、側転やストンプなどのパフォーマンスで相手を威嚇する行為はしてはならない。
※日本中体連バレーボール競技部で確認され、令和元年度東北大会から適用

令和元年度 県中総体（令和元年7月15日）確認

（1）試合前の公式練習について

- 公式練習を3分ずつ行う場合、ネットを使用していないチームは、自チームベンチ前のアタックラインの延長線から後方、またはスパイク練習後方で、相手の練習に影響が出ない範囲でボールを使った練習ができる。
- コート制限エリア外や、ベンチの反対側（審判台側のフリーゾーン）は、練習で使用できない。

令和元年度 第1回専門部会（令和元年5月24日）確認

（1）合同チームの引率責任者について

- 県中体連の合同チーム参加規程では、「別席にいる引率責任者は公式練習前までは指導できる」とあるが、バレーボール競技においては、登録されたチームスタッフ（監督・コーチ）のみフロアでの指導を認め、それ以外の引率責任者は引率者席につくこととする。

平成30年度 第2回専門部会（平成30年11月1日）確認

（1）合同チームにおけるチーム編成について

- ①チームスタッフの人数は、単独校の場合と同じとする。
- ②引率教員がチームスタッフ（監督・コーチ）の人数を超える場合、試合中は大会本部が示す席（引率者席）につくこと。
- ③外部コーチをコーチとする場合は、当該校すべての校長の許可を得ること。

平成29年度 県中総体（平成29年7月15日）確認

（1）ボールデッド時間は8秒で運営できるようにチームも協力すること。

- ①ボールデッドになったならば、サーバーはサーブエリアに移動すること。
- ②ボールデッドになったならば、速やかにボールをサーバーに渡すこと。
- ③コート外へボールが出た場合は、速やかに一人でボールを拾いに行くこと。

平成28年度 県中総体（平成28年7月18日）確認

~~（1）WTO時にモッパ―は入らない。選手としてのクイックモッパ―や登録選手以外の補助員扱いでのクイックモッパ―も水分補給の時間とする。モッパ―が入れるのは、公式練習後・セット間・タイムの時間のみとする。 ※平成30年度 東北中学校体育大会で確認~~

（2）クイックモッパ―を待機させる場所は、記録席の横・ベンチとアップゾーンの間の中のか所とする。ただし、フロントゾーンを優先させる。

（3）セット間でのボールの使用は該当チームのみとする。その他のチームは使用することができない。

~~（4）試合開始時、副審のポジショニングの確認を行ってから円陣を組む（ファイティングコール）ことはできない。ただし、ポジショニングの確認を行う前に円陣を組むことができる。~~

※令和3年度 第2回県専門部会で確認

（5）ハチマキは、競技者全てが同じものを使用する。（リベロは対称のハチマキを使用しないで同じものを使用する）

平成27年度 第3回東北中体連専門委員長会議（平成27年8月4日）確認

（1）太鼓や鳴り物を使用した応援は認められていますが、以下の点に注意してください。

- ①ホイッスルが聞こえづらいときは、使用を控えてもらうことがあります。競技委員の指示に必ず従ってください。
- ②選手にホイッスルがきちんと聞こえるように、（特にサーブ時などは）節度をもって応援してください。
- ③フロアでの使用は認められていません。

(2) 試合進行をスムーズに行うために、以下の点を確認してください。

- ① 試合開始、終了時の握手は向かい合った人のみとします。
- ② 試合後の対戦相手の監督へのあいさつは行わないものとします。
- ③ 試合終了後は速やかにベンチを空けてください。

(3) 「全国大会参加チームのユニフォームの規定について」の取り扱いについての確認

日本中体連バレーボール競技部HP (<http://jihsva.com/report.html>)

以下の2点の取り扱いの解釈について、全国大会での運用を東北大会でも厳格に適用することになりました。

4 チームネーム

- ① ジャージ（シャツ）の胸部もしくは背部には、正式な学校名またはその略称をつけなければならない
→胸部、背部2か所に学校名を入れることはできません。いずれか1か所になります。

7 ハチマキ

ハチマキやサポーター類は、ユニフォームに準ずるものとし、刺繍等の表記は学校名のみとする。

→結び目への「合言葉」、「名前」なども認められません。

※平成26年度 日本中体連バレーボール競技部 常任委員会で変更。

本県の対応

- ① 現在すでに着用しているユニフォーム、ハチマキ（額部は学校名のみ）については、県大会での着用を認めます。ただし、規定を満たす努力を各チームでお願いします。
- ② 新たにユニフォーム、ハチマキを作成する場合は、規定を必ず満たすようにしてください。
- ③ 東北大会以上では、規定を満たさない部分をテーピング等で隠すなどされます。

各地区で周知徹底をお願いします。

平成26年度 第2回専門部会（平成27年3月2日）確認

OWTOの取り扱いについて

- ① H27県春季大会2日目の全試合で採用する。
- ② H27県中総体のすべての試合で採用する。

※地区大会での取り扱いは地区委員長の判断にゆだねる。

平成26年度 第1回専門部会（平成26年5月30日）確認

○コーチ（教職員外）の変更がある場合

「エントリー確認用紙」と「学校教職員外コーチ承認願」を監督会議の時に提出すること。

平成25年度 第3回専門部会（平成26年3月3日）確認

○各大会のプログラム写真は、申込用紙に記載してある「写真隊形」で撮影し、スタッフも写真に加わる。こと。（登録外の中学生部員はOK） → エントリーを確認するため。

○ベンチ及びフロアには有効に登録された監督、コーチ、マネージャー及び選手以外は入ることができない。ただし、プロトコール前は、当該校の中学生の入場も認める。

平成25年度 第2回専門部会（平成25年8月23日）確認

○スタッフ（監督・コーチ）は、統一された服装でベンチに入ること。→襟付きのシャツとする。

○試合開始の予定時刻を定めているが、第2試合以降は、予定した時刻より遅れることがあっても、早く開始されることはない。プロトコール開始は、プログラム記載時刻の11分前とする。

各試合とも、10分の合同練習（パス程度）後、プロトコールに入る。なお、当該チームの試合が連続してしまう場合は、前の試合が2セットで終了した場合は最大15分間、3セットの場合は最大20分間空けて、その後、プロトコールに入る。

○第1試合の前の練習は、コート設営が完了し、コート系の許可が出てから自由にコートを使って練習

できる。ただし、ネット越しのプレーは禁ずる。

- 「エントリー確認用紙」は、変更のないチームも変更「無」に○をし、変更前の選手名を記載し提出すること。

平成25年6月22日確認

- ユニフォームに県名を入れる場合…（県名を入れるのは義務ではありません）

長袖や半袖とき、左右のいずれかの袖に入れる。胸部は認めない。

袖がない場合は、胸部左あるいは背面中央襟下につけることとする。（※2016年ユニフォーム規定）

大きさは、4cm×10cm以内とする。

平成25年度 第1回専門部会（平成25年5月24日）確認

- 開会式後、試合後のステージへのあいさつは行わない。

- 「パス程度」→フェイント、トス練習はOK。ボールをヒットしての練習は×。

ボールが散らばらないための措置であり、コート系の指示には従うこと。

平成24年度 第3回専門部会（平成25年2月27日）確認

※日本中体連バレーボール競技部 第3回常任委員会 報告 文責：渡部（東北ブロック長）

2-5-1 競技委員会

- ・サポーター類の医療目的のいろいろなアンダーウェアが出てきていますが、これも下記のようにしたいとなりました。

一体型のタイツやシャツは不可。

足首、ふくらはぎ、膝、太ももなどばらばらのサポーターを付けた場合、見分けにくい
がタイツでないので認めるしかないであろう。

ノースリーブのユニフォームの下に、全員揃いの長袖 T シャツ（アンダーウェア類）
などを着るのも認められない。

- ・シャツの裾を、パンツの外に出すタイプのもので、中体連はパンツの中に入れる。
- ・はちまきはユニフォームに準ずるものとし、刺しゅう等の表記は学校名のみとする。後ろの結ぶ側に、背番号や合言葉等も認められない。

※平成26年度 日本中体連バレーボール競技部 常任委員会で変更。

※県大会での確認事項

- 開会式に参加する選手は、12名以内とし、統一したユニフォームを着用すること。

→ リベロも統一したユニフォーム